

22 春闘、夏闘の後で示された改善も 引き続き職場の課題解決を目指す

マイカー通勤者の高速代について改善を求めて交渉してきた中で、最近燃料費支給基準への不満の声もあり、要求もしてきました。

【22 夏闘要求】マイカー通勤者の燃料費支給基準に実走行距離を追加し、高速代は全額支給すること。

【22,6/1 回答】公共交通機関での出退社を基本としており、高速道路料金補助費は現行水準で適正であると考えています。燃料費支給基準に実走行距離を追加する点について、現行の「事業所・自宅間直線距離×1.4」と「実走行距離」の二つの基準が併存することは制度上相応しくないと考えており、燃料費支給基準については、算出に利用している「事業所・自宅間直線距離×1.4」を「実走行距離」に変更することを検討しております。

夏闘の回答には間に合わなかったものの、8月9日に労組に提示があり、10月1日から以下の新基準に変更になるとのことです。

(新基準)ガソリン単価×事業所・自宅間距離÷10×2×通勤回数

この事業所～自宅間距離の算出方法は「会社が業務用ソフト等を用いて算出した最短時間の距離」と書かれていたので、確認したところ Google マップで調べるだけのようです。会社が決めた最短距離が、実際に通勤で使っている経路と全然違っている場合はどうなるのでしょうか？

また、実走行距離が片道 20 km 以上で高速代補助を受けている人は、高速道路を利用した経路で燃料費が決まります。少ない補助しか出ないため、毎回高速を使うと本人の持ち出しになります。時間と体力に余裕があるときは一般道を使う時もあるでしょう。そういった場合、高速を利用する経路より遠回りになって、支給される燃料代では足りないこともあります。



マイカー通勤も実費支給に

高速代補助 200 円はいつの時代の基準？

△ 今回の燃料費支給基準の変更理由は、技術の進歩で WEB で簡単に実走行距離を算出できるようになったからということ。昭和の時代に作った基準を今まで使っていたわけですが、高速代補助はどうなのでしょう？ 現在、高速代(片道)301 円以上なら 200 円支給されることになっています。首都高の利用料金が一律 500 円の時代なら 4 割補助していたことになりませんが、2016 年から距離制になって遠くから通勤している人の負荷は上がりました。組合では 2017 年から高速代補助の改善を要求、回答はいつも「現行水準で適正」と言われます。理由としては「公共交通機関での出退社が基本」ということと、「シフト補助が出ているから」もあります。

△ 公共交通機関で便利に通えるところに住んでいないからマイカー通勤を選択しています。従って電車で通勤しようとするので駅までバスか自転車、シフト勤務だと早朝・深夜はタクシー配車。そのタクシーは普通に高速道路を利用します。費用削減のためマイカー通勤を推奨している時があったから、電車が不便でもそこに住んでいます。



シフト補助があっても持ち出しは多い

一方で「シフト補助」として N 勤務がある方には 9500 円/月が支給されます。通勤に自家用車を使うとガソリン以外にも消耗するものがあり、それらは「この補助の中で賄える」という話。高速代補助 200 円で足りない部分の穴埋めもここからとされています。

持ち家を売って引越すのはなかなか難しいもの。とはいえ高速代、燃料代は上がります。その時代に合わせて各種補助も見直すべきです。

熱中症対策でウォーターサーバー設置

今年の夏闘では、熱中症対策について「前進どころが後退している」と会社に訴えてきましたが、整備本部と羽田航空機整備センターでいろいろ検討した結果、「安心・安全性を高めた本格的ウォーターサーバー」のトライアルを実施。ハンガーでの評判が良かったため第1ターミナルにも2台設置されました。

従来の冷水器も修理されて使えるようになっていたものの、タンク内の清潔性への不安や、不特定多数が接触することによる衛生面の問題などがあって、使用を控える人もいました。今回トライアルしているサーバーは、その指摘を見事にクリアし、なおかつ血糖値や血中コレステロール値を下げる働きをするバナジウムや良質なミネラルも含むため健康にも良さそうです。



飲み物については その他は？

福島の地球環境保全のキャラクター



交渉では自販機の飲み物を会社の費用負担で安くできないか追求してきました。しかし、ESG経営を目標に掲げているJALグループにとって、ペットボトルゴミが増えるのは取り組みに逆行するため、たとえお金があっても出来ないでしょう。飲み物の件はこのウォーターサーバーを必要なところに設置してもらえたならば、この夏に前進したポイントに入れます。

今回のトライアルをきっかけにマイボトルを買った人もいて、M2ハンガーに寄った時に水を汲んで、暑い現場に持って出ていきます。確かにこれが定着すれば、いくらかCO2を削減できます。マイボトルは好みもありますから、自分で買うのも仕方ないかもしれません。しかし、最近トライアルしていた冷感ベストや昨年のファン付きベストは、勝手に自分で購入して作業中に着ていいものではありません。使う人、場所によっては有効なので、使いたい人が使える環境を早く整えてほしいものです。

労働組合を描いた映画のご案内

公式HPはこちら→



10月24日(月) 大田区民プラザ大ホール 東急多摩川線「下丸子駅」下車駅前

前売券: 日本航空ユニオン組合員(家族、友人も) 1,000円

上映: ①10:00~12:30 ②13:30~15:30 ③18:30~20:30

お問い合わせは日本航空ユニオン本部まで

【WING517(13-12)号 2022.08.22】